

今後の進め方について（案）

1 今後の進め方について

都市計画マスタープラン及び景観計画の策定に向けた、今後の進め方としては、両部会の当初に決定した、概ね2ヵ月に1回の専門部会の開催を経て、中間報告及び最終案策定時の2回の策定委員会の開催を予定している。

また、住民意見の反映を行っていくための、パブリックコメントの実施も最終段階で予定している。

2 更なる市民参加の実施について

都市計画マスタープラン及び景観計画の策定作業において、より一層市民参加、参画を図っていくとともに、両計画策定後のまちづくりについても市民との協働により推進していくため、まちづくりに興味がある市民の集まる場の提供も兼ね、平成22年度は「(仮称)暮らしの景観・まちづくり研究会」を開催する。

この研究会は、「他のまちでどんなことが行われているか」を知り、「これからのまちづくりについてみんなで考え」、「意見交換を行い」、今後の活動を主体的に進めて行くための人材育成を目的に開催するもの。

また、研究会での学習成果を自主的に「市民会議」を立ち上げていただき、まちづくりを実践してもらいたいと考えている。

一方で、このような決まった研修会、会議に参加できないような市民の方にも積極的に景観形成やまちづくりにかかわっていただけるよう、生駒市の中で、好きな場所や風景の写真をホームページ上で募集し、市民のみなさんが、生駒市内で、どんな場所が好きなのかを探り、どんなところに生駒らしさがあるのか見つけていきたいと考えている。

①（仮称）暮らしの景観・まちづくり研究会の開催

「（仮称）暮らしの景観・まちづくり研究会」については、市民の中に実際に景観づくり、まちづくりの担い手となっていただける方を育成していくための勉強会として位置づけ、策定委員会の主催による連続講座の開催を行っていききたい。

②実践作業について（案）

「（仮称）暮らしの景観・まちづくり研究会」で学んでいただいた結果を実践していただくために、研究会の参加者の皆さんで実際に模擬的な作業を行っていただきたい。原則としては自主的に実践テーマを考えていただく予定だが、案としてはまちづくりと景観形成を進めていく上で活用していくために、「まち歩きパンフレット」の作成を行っていただきたい。

パンフレットを市民だけの手で一から作成していくことにより、今までわからなかった新たなまちを発見してもらうことを目的としている。